

東京電力(株)福島第一原子力発電所の瓦礫等保管のイメージ

特定原子力施設
放射性廃棄物規制検討会
(第2回)
参考1

無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

【第1回資料3-2からの変更点】
・2号機オペレーティングフロアアクセス用構台(約2千m³)及び2号機燃料取り出し用カバー(約16千m³)を発生量に追加。
・2号上部瓦礫の発生物量を修正(約4千m³⇒約6千m³)。
・その他工事の発生物量を修正(約28万m³⇒約383千m³)。
・伐採木、使用済保護衣等の発生予測物量を追記。
・瓦礫等の発生量実績・発生予測の合計を追記。

- ・敷地境界線量への影響が高い瓦礫等から優先的に建屋内保管に移行
- ・可能な限り、可燃物は焼却、金属・コンクリートは減容処理した上で、建屋内に保管
- ・今後の廃炉作業の進捗状況や瓦礫等発生量の将来予測の見直し等を、適宜反映していく

